

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 702

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	平井 静男
事業名	社会教育委員活動事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	社会教育委員活動事業			政策体系	132
会計	一般会計	科目	10.教育 - 5.社会 - 1.社会		

1. 事業の概要

社会教育に関する諸計画を立案、教育委員会の諮問に応じ意見を述べる。
社会教育委員会議に出席して社会教育について意見を述べる、社会教育団体等に対して助言と指導を与える。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

南丹市における社会教育の完全なる実施を促進し、その目的を達成するために12名の委員を委嘱し、施策にある地域社会の形成や学習機会の拡充の上で重要な役割を担っている社会教育関係団体の自主的な学習活動を育成・支援することをはじめ、社会教育に関する諸計画及び検証を年2回の委員会で審議いただいている。

② 事業を実施する必要性

社会教育は市民の生活と直接結びついているのが特徴で、社会教育行政は市民の意向を忘れてはならない。そこで市民の意向を反映させるために法や条例で社会教育委員を設置することとされている。社会教育委員は社会教育における市民の代弁者であり、社会教育の起動力である。そのため社会教育行政を遂行するためには、担当職員はもとより社会教育委員の英知と熱意が不可欠である。そういったところから、府教委や近隣市町教委とも連携し、社会教育委員の研修集会等を開催（参加）し、今以上の資質向上を図る必要がある。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	805	623	487	554	531	700	700
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	805	623	487	554	531	700
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.37	0.28			
人件費	千円	—	—	2,707	2,174			
事業費総額	千円	—	—	3,194	2,728			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

委員報酬（10名分）	402,000円
府及び近畿大会等参加旅費	82,440円
府団体等への負担金	29,000円

5. 事業結果の概要

- ・市社会教育委員会（2回開催）
- ・府社会教育委員連絡協議会総会（美山町開催）
- ・近畿社会教育研究大会（奈良県）
- ・府社会教育委員研究大会での実践発表
- ・南丹地区社会教育研究大会での実践報告

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 主催会議		
●第1回社会教育委員会 場所：南丹市文化博物館・平成21年度指導の重点、平成21年度事業計画 他	平成21年5月27日	委員8名参加
●第2回社会教育委員会 場所：南丹市園部公民館・平成21年度事業報告、平成22年度指導の重点 他	平成22年3月29日	委員7名参加
(2) 関連事業		
●京都府社会教育委員連絡協議会総会 場所：南丹市美山文化ホール・平成20年度事業及び決算報告・平成21年度事業計画、予算承認・平成21年度表彰・講演会	平成21年6月12日	委員7名参加主催：京都府社会教育委員会連絡協議会
●南丹地区社会教育委員会連絡協議会総会 場所：口丹波勤労者福祉会館・平成20年度事業及び決算報告・平成21年度役員、事業計画、予算承認	平成21年5月25日	委員8名参加主催：南丹地区社会教育委員会連絡協議会
●近畿地区社会教育研究大会 場所：なら100年会館・講演会・シンポジウム・分科会別研究協議 他	平成21年9月3日～4日	委員7名参加主催：社団法人全国社会教育委員会連合会 他
●南丹地区社会教育委員会連絡協議会研究大会 場所：亀岡市教育研究所・講演・施設見学・報告 他	平成21年11月10日	委員3名参加主催：南丹地区社会教育委員会連絡協議会
●京都府社会教育委員連絡協議会研究大会 場所：アミティ丹後・講演・分科会 他	平成21年11月27日	委員6名参加主催：京都府社会教育委員会連絡協議会
●南丹地区人権教育指導者研修会 場所：ガレリアかめおか・講演・中学生のメッセージ 他	平成22年2月9日	委員6名参加主催：南丹地区社会教育委員会連絡協議会

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

・社会教育委員の資質向上及び実践活動への参画として、21年度は府社会教育委員連絡協議会総会を美山町で開催するなど実践活動のアピールと府内社会教育活動の交流を図ることができた。
 ・社会教育事業の全般の研究調査を定例会議で審議いただき、その内容は社会教育事業に反映している。また人権教育・啓発推進協議会、青少年育成協会、放課後児童健全育成事業運営委員会等といった実践の場にも参画いただいている。
 ・23年度に予定されている国民文化祭と全国社会教育研究大会京都大会の運営にも参画していく。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

①事業執行にあたり議論を重ねた点
 社会教育委員の資質向上及び実践活動への参画。
 ②当該事業のアピール事項
 社会教育事業の全般の研究調査を定例会議で審議いただき、その内容は社会教育事業に反映されている。また人権教育・啓発推進協議会、青少年育成協会、放課後児童健全育成事業運営委員会等といった実践の場にも参画いただいている。
 ③反省点、今後の展開・方向性等
 21年度末に委員任期が満了することから、委員の選考をする必要がある。